



完成予想図 蒼滝大橋より

■大型車両運行予定


資機材の搬入にともなう交通規制を行う際は事前にご連絡をいたします。


運 行 箇 所	9月		
	10	20	31
町道湯の山温泉山岳線 三交湯の山温泉バス停 ～ロープウェイ (A1橋台)	交通規制(路肩規制のみ)		
町道三の瀬養鱒場線 三交蒼滝口バス停 ～蒼滝公共駐車場 (P1・P2橋脚)	大型車両運行予定あり(上部工工事)		
国道477号線 旧鈴鹿スカイライン (A2橋台)	交通規制予定なし		

■上部工工事以外の橋梁関連工事の予定

上部工工事以外にも、橋梁と道路の取付け部における道路改良工事や斜面保護工事等が実施・予定されております。なお、上部工工事以外の詳細情報については、発注者へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

■連絡先

発注者 :  三重県四日市建設事務所 事業推進室 道路課  
TEL 059-352-0675

施工業者 :  日本ピーエス・川田建設 特定建設工事共同企業体  
TEL 059-391-6050



MONTHLY INFORMATION AUG.2017



現況写真(H29.8.9撮影)

湯の山大橋(仮称)工事だより



# 湯の山大橋(仮称)工事だより

平素より、公共工事に対しましてご理解とご協力いただきまことにありがとうございます。残暑が厳しく、天候が変わりやすい日が多いこの頃いかがお過ごしでしょうか。

8月も先月に引き続き、P1橋脚・P2橋脚ともに張出架設（約2～4mずつ、やじろべえ式に張り出す工法）の施工を行っております。中央の径間の方は、橋桁の閉合(合体)に向けて残りの施工の方も大詰めとなっております。

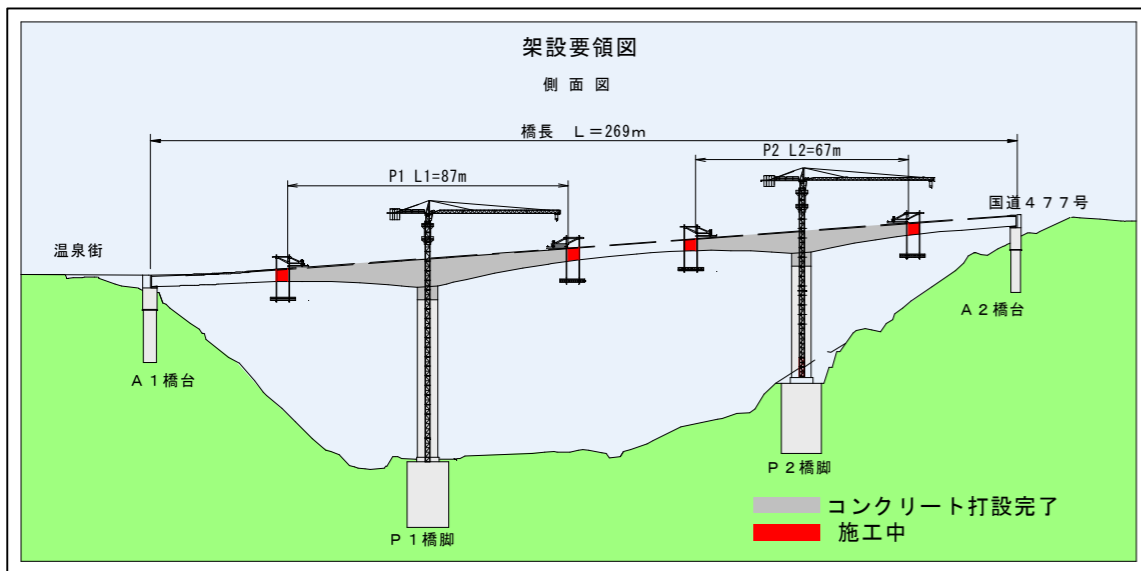
気温・湿度とも高く、熱中症になりやすい季節となっております。熱中症に対する指導・教育を徹底し、品質・安全を第一優先に工事を行ってまいります。本工事に対する、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

## ■ 各工事の工程

工 事 種 別	平成 28 年				平成 29 年				平成 30 年			
	1	3	6	9	12	1	3	6	9	12	1	3
橋 梁 下 部	橋 台	■								■		
	橋 脚	■								■		
	撤去復旧									■		
コンクリート 橋 上 部	主桁製作									■		
	支 承									■		
	付 属 物									■		
取 付 道 路	A1橋台側									■		
	A2橋台側									■		
斜 面 対 策	A1橋台側									■		
舗 装									■			

- : 9月工事箇所
- : 施工業者
- : 日本ピーエス・川田建設
- : 竹中土木・院南組完了
- : 服部組
- : 別府建設
- : 業者未定

## ■ 8月の工事箇所



■ : 9月の工事箇所

## ■ 品質管理 ～グラウト管理～

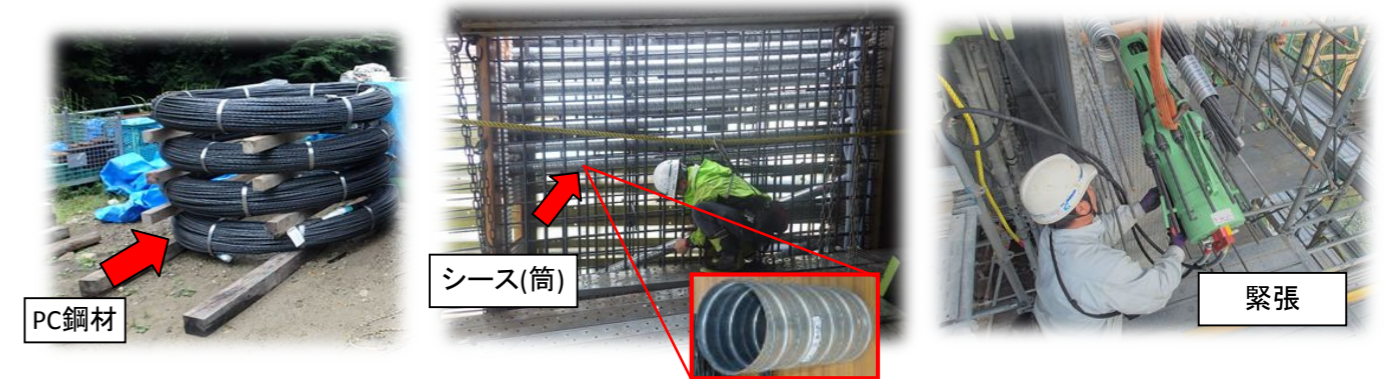
品質管理の中に「グラウト管理」があります。グラウトは以下の目的のために行われます。

- ・ PC鋼材(高強度ピアノ線)を腐食から保護する
- ・ 部材コンクリートとPC鋼材を一体化する

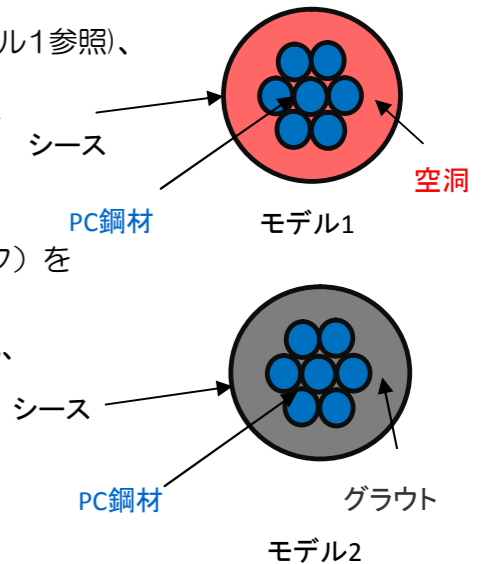
グラウトの品質や施工の良否によっては、PC橋の今後の耐久性に大きな影響を与えるため、グラウト管理を行います。

### ■ PC鋼材を腐食から保護・一体化するとは？

PC鋼材は、設置されているシース(筒)に挿入した後、緊張作業により橋に強度を保持します。



しかし、緊張後のシースとPC鋼材の間には空隙があり(モデル1参照)、そこに劣化因子が侵入すると、PC鋼材の腐食に繋がります。また、コンクリート内部に空隙が存在しているため、橋として一体化しているとは言えません。



そこで、この空隙を充填するためにグラウト(セメントミルク)を注入します。

グラウトの注入を行うことで、シース内の空隙部が充填され、上記の内容が満足されるのです(モデル2)。



グラウト材配合確認状況

来月号も、品質管理「グラウト」についてお話しします！



グラウトを充填するための注入作業に際しては、多くの管理すべき品質項目があります。

次号では、品質管理について説明します。